




平成23年3月

出会い、ふれあい コミュニティバンク

 相双信用組合

相馬市中村字大町69番地

TEL 0244-36-5561

ホームページアドレス

<http://www4.ocn.ne.jp/~soso/>

平成22年度第3回そうしん景況予測調査の集計結果について

相双信用組合(理事長 庄子 勇雄)では、当組合営業圏(相馬市、南相馬市、相馬郡、双葉郡)の事業所・事業者の実態と動向を把握し、現在の経済環境がどのような影響を及ぼしているのか、さらに、今後の状況は、どのようになると予想されるのかを調査・集計し、この結果を企業経営の参考にして頂く事を目的として、平成22年度第3回景況予測調査を実施致しました。今般、その調査の集計結果がまとまりましたのでご報告致します。

記

1. 調査の特徴

相馬地区(相馬市、相馬郡新地町、該店舗 本店 相馬港支店 新地支店)、南相馬地区(南相馬市、相馬郡飯館村 該店舗 鹿島支店 原町支店)並びに双葉地区(双葉郡全域、該店舗: 浪江支店 大熊支店 富岡支店)の事業所・事業者モニター先200先を対象として四半期毎の景況予測をアンケートの方法によって継続実施し、集計値をDI(※1)で表示致します。

2. 調査対象期間

平成22年10月～12月期(実績)、1月～3月期(見通し・予測)、4月～6月(見通し・予測)

3. DI算出方法

BSI(※2)計算法を用い、DI値を算出する。

$DI = \{ (\text{良いと回答した事業者構成比}) + (\text{やや良いと回答した事業者構成比}) \} - \{ (\text{やや悪いと回答した事業者構成比}) + (\text{悪いと回答した事業者構成比}) \}$

※1 DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で景気の動向を表す指数。

※2 BSIとは、ビジネス・サーベイ・インデックス(Business Survey Index)の略で、景気動向指数とも呼ばれ、DI値算出の基準となる。

4. 調査結果のポイント

全体としては、現在の景況DI値は、悪化の傾向にあり景況は低調に推移している。業種・業態の格差はあるものの、全体的に停滞期が続き、引続き景況は低調な状況にある。

業種別: 実績、見通し・予測の景況判断はマイナスのDI値となっており、前回調査時の予想よりも、全業種的に景況は厳しい状況にあると判断出来る。

地区別: 業種別同様全地区で実績、見通し・予測の景況判断はマイナスのDI値となっている。前回調査時の予想とくらべても、全地区において以前として景況低迷しておりマイナス値が増加している。

(詳細については次ページ以降の「そうしん景況予測調査」を参照願います)

平成23年3月

平成22年度第3回そうしん景況予測調査

I. 調査方法の概要

1. 調査時期 : 平成23年1月中旬
2. 調査対象期間 : 実績 『10月～12月期』(平成22年度第3四半期)
見通し・予測 平成23年『1月～3月期』、『4月～6月期』
3. 調査方法 : アンケート紙法
4. 調査対象先 : 相馬・新地地区、南相馬・飯館地区並びに双葉地区の事業所・事業者200先
5. 回答先数 : 200先(回答率 100.00%)
(注) 集計結果につきましては、業種毎・地区毎の回答の多少などにより、計数に若干の偏りが
出るものと思われまますのでご了承ください。

II. 調査結果の概要

1. 景況総合判断(アンケート項目 1)

前回調査時の見通し・予測よりDI値は、全体的にマイナス幅は増加しており、景気の下降傾向を示している。

景況判断DI

DIポイント(%) = (良いと回答した事業者構成%) - (悪いと回答した事業者構成%)

業種別	対象先数	構成比 (%)	前回(%)		今回(%)		
			見通し・予測		実績	見通し・予測	
			10月～12月期	1月～3月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全体	200先		△ 12.63	△ 16.92	△ 16.50	△ 19.70	△ 20.20
製造業	27先	13.50	△ 11.11	△ 22.22	△ 14.81	△ 25.93	△ 18.52
建設業	36先	18.00	△ 22.22	△ 19.44	△ 19.44	△ 19.44	△ 38.89
不動産業	2先	1.00	0.00	△ 50.00	0.00	0.00	0.00
サービス業	44先	22.00	△ 30.23	△ 28.57	△ 15.91	△ 27.91	△ 13.95
運輸・交通	5先	2.50	20.00	20.00	△ 20.00	△ 20.00	△ 20.00
卸・小売	86先	43.00	△ 2.35	△ 9.64	△ 16.28	△ 14.12	△ 16.47

(例)

御社の景況について『10月～12月期』の場合、前期と比べて

『上昇』と回答された先 2先 構成比 1.00 %
『やや上昇』と回答された先 22先 構成比 11.00 %
『変わらない』と回答された先 119先 構成比 59.50 %
『やや下降』と回答された先 50先 構成比 25.00 %
『下降』と回答された先 7先 構成比 3.50 %

(未回答の先 0先)

(『上昇』+『やや上昇』)-(『やや下降』+『下降』) = 『上昇超』-『下降超』
= △ 16.50 %

(DI値マイナスで、『下降超』が88%を占めやや上昇・上昇は、12%と少数の企業となっている)

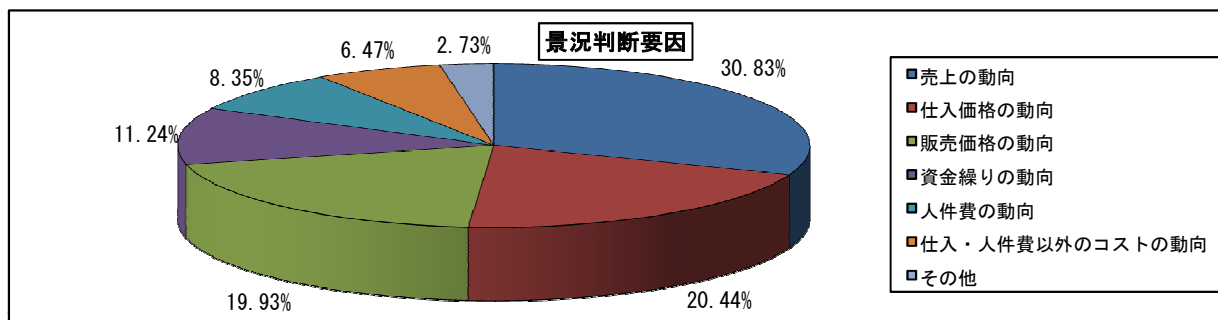
～景況天気図～

DI値(%)				
	快晴	30以上		うすぐもり △10以上10未満
	はれ	10以上30未満		くもり △30以上△10未満
	雨	△50以上△30未満		大雨 △50未満

業種区分 & 項目別DI値	総合判断(%)		
	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全体	△ 16.50	△ 19.70	△ 20.20
製造業	△ 14.81	△ 25.93	△ 18.52
建設業	△ 19.44	△ 19.44	△ 38.89
不動産業	0.00	0.00	0.00
サービス業	△ 15.91	△ 27.91	△ 13.95
運輸・交通	△ 20.00	△ 20.00	△ 20.00
卸・小売	△ 16.28	△ 14.12	△ 16.47

『10月～12月期』実績では、ほとんどの業種でマイナスのDI値であるが、全体的には前回調査時の予測より3.87ポイントの下落しており、景気の低迷感を示している。しかし、次期以降の見通し・予測を含めて、曇り空から脱却できない状況である。
 『10月～12月期』の景況判断要因としては、過去の調査と同様に「売上の動向」が1位で、2位の「仕入価格の動向」と合わせると全体の50%以上を占めている。

(アンケート項目 2)



2. 地区ごとの状況

業種別同様全地区で実績、見通し・予測の景況判断はマイナスのDI値となっており、前回調査時の予想よりも、景況の低迷状況期にあると見る。

地区別景況判断DI

地区別	対象先数	構成比 (%)	前回 (%)		今回 (%)		
			見通し・予測		実績	見通し・予測	
			4月～6月期	7月～9月期		7月～9月期	10月～12月期
全体	200先		△ 12.63	△ 12.72	△ 16.50	△ 19.70	△ 20.20
相馬地区	70先	35.00	△ 15.94	△ 13.73	△ 18.57	△ 20.29	△ 18.84
南相馬地区	50先	25.00	△ 4.00	△ 16.67	△ 24.00	△ 20.00	△ 22.00
双葉地区	80先	40.00	△ 18.99	△ 9.46	△ 10.00	△ 18.99	△ 20.25

地区別 DI値	総合判断		
	10月～12月	1月～3月	4月～6月
相馬地区	△ 18.57	△ 20.29	△ 18.84
南相馬地区	△ 24.00	△ 20.00	△ 22.00
双葉地区	△ 10.00	△ 18.99	△ 20.25

『10月～12月期』実績では、全ての地区でマイナスのDI値であるが、全体的に前回調査時の予測より景況低迷している状況があり次期以降の見通し・予測を含めて、景況回復には程遠く 全体的に、DI値プラスに転ずることは容易でない景況にある。

3. 項目別の概要（アンケート項目 3～14）

業種区分 & 項目別D値	売上状況			販売価格状況		
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全体	△ 9.00	△ 12.63	△ 16.84	2.51	7.14	8.16
製造業	△ 14.81	△ 25.93	△ 18.52	0.04	0.04	0.07
建設業	△ 22.22	△ 13.89	△ 33.33	△ 2.78	5.56	2.78
不動産業	△ 50.00	△ 50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
サービス業	△ 4.55	△ 16.28	△ 9.76	0.00	0.00	4.76
運輸・交通	20.00	0.00	△ 20.00	0.00	0.00	0.00
卸・小売	△ 4.65	△ 5.88	△ 12.94	5.88	13.10	13.10

業種区分 & 項目別D値	仕入価格状況			人件費状況		
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全体	△ 9.60	△ 8.16	△ 8.16	0.00	△ 1.53	△ 0.51
製造業	△ 7.41	△ 3.70	△ 14.81	0.00	15.38	3.85
建設業	△ 5.56	△ 2.78	△ 2.78	2.78	△ 13.89	△ 5.56
不動産業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
サービス業	△ 23.26	△ 21.43	△ 16.67	9.09	0.00	2.33
運輸・交通	△ 25.00	△ 25.00	△ 25.00	0.00	△ 20.00	△ 20.00
卸・小売	△ 4.65	△ 4.71	△ 3.53	△ 5.88	△ 1.19	0.00

業種区分 & 項目別D値	仕入・人件費以外のコスト状況			収益		
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全体	△ 1.50	△ 4.55	△ 8.59	△ 14.00	△ 14.65	△ 20.20
製造業	3.70	3.70	0.00	△ 18.52	△ 22.22	△ 25.93
建設業	11.11	5.56	2.78	0.00	△ 11.11	△ 30.56
不動産業	0.00	0.00	0.00	△ 50.00	0.00	50.00
サービス業	△ 13.64	△ 18.60	△ 18.60	△ 22.73	△ 25.58	△ 25.58
運輸・交通	20.00	20.00	20.00	20.00	0.00	0.00
卸・小売	△ 3.49	△ 5.88	△ 12.94	△ 15.12	△ 9.41	△ 14.12

業種区分 & 項目別D値	従業員の状況			臨時・パートの状況		
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全体	3.55	4.10	△ 0.51	5.61	3.16	5.79
製造業	3.85	0.00	△ 3.85	14.81	14.81	18.52
建設業	2.78	8.33	△ 11.11	14.29	△ 2.86	14.29
不動産業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
サービス業	4.65	2.38	4.76	2.33	△ 2.50	0.00
運輸・交通	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
卸・小売	2.35	4.76	2.38	1.19	4.88	1.22

業種区分 & 項目別D値	残業時間の状況			資金繰りの状況		
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全体	1.54	1.04	△ 0.52	△ 12.69	△ 18.04	△ 15.98
製造業	3.70	△ 3.70	△ 3.70	△ 14.81	△ 14.81	△ 14.81
建設業	2.94	2.86	△ 2.86	△ 14.29	△ 25.71	△ 17.14
不動産業	0.00	0.00	0.00	△ 50.00	0.00	50.00
サービス業	0.00	0.00	0.00	△ 16.28	△ 14.29	△ 14.29
運輸・交通	△ 20.00	0.00	0.00	△ 20.00	△ 20.00	0.00
卸・小売	2.38	2.44	1.22	△ 8.24	△ 18.07	△ 19.28

業種区分 & 項目別DI値	金融機関からの調達(借入)			設備状況		
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全体	△ 3.06	△ 3.08	△ 1.03	△ 2.56	△ 3.65	△ 2.60
製造業	△ 11.11	△ 11.11	△ 3.70	△ 7.41	△ 3.70	△ 7.41
建設業	△ 5.71	△ 2.86	5.71	0.00	△ 5.88	0.00
不動産業	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.00
サービス業	△ 7.14	△ 4.65	△ 4.76	△ 2.33	△ 2.38	△ 4.76
運輸・交通	△ 20.00	△ 20.00	△ 20.00	0.00	0.00	0.00
卸・小売	3.53	1.20	0.00	△ 2.35	△ 3.61	△ 2.41

項目別では、全体的にくもり、が多いものの、運輸・交通業はコストの改善が見られ、「金融機関からの調達(借入)」は、くもりの状況にある。又、全体的に「残業時間の状況」も曇りの状況が続いている。

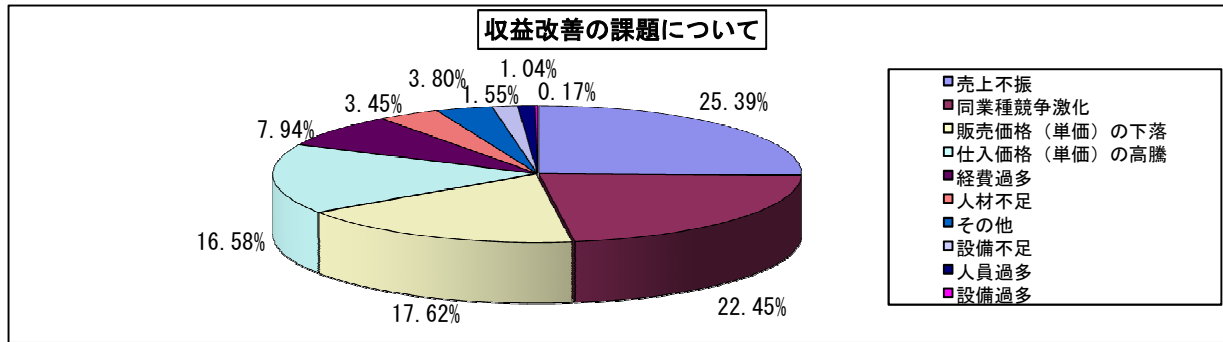
4. 今後の設備状況について(アンケート項目 15、16)

	増設予定		現状のまま (入替え予定含む)		削減予定		未回答 先数
	先数	割合	先数	割合	先数	割合	
機械・器具	2	33.33%	10	5.32%	1	33.33%	
車両運搬具	3	50.00%	14	7.45%	1	33.33%	
IT事務機器	0	0.00%	16	8.51%	1	33.33%	
その他事務機器・備品	1	16.67%	5	2.66%	0	0.00%	
造作設備	0	0.00%	3	1.60%	0	0.00%	
不動産設備	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
その他	0	0.00%	22	11.70%	0	0.00%	
未回答	0	0.00%	118	62.77%	0	0.00%	3
合計	6	100.00%	188	100.00%	3	100.00%	3
今後の設備状況についてのDI値			1.52%				

今後の設備状況についてのDI値はプラス1.52%で、建設予定が削減予定を僅かではあるが上回っている項目がある。前述の「3. 項目別の状況」でもうすぐもりの項目が多く設備投資を控えていると思われる。

5. 収益改善の課題・改善方策

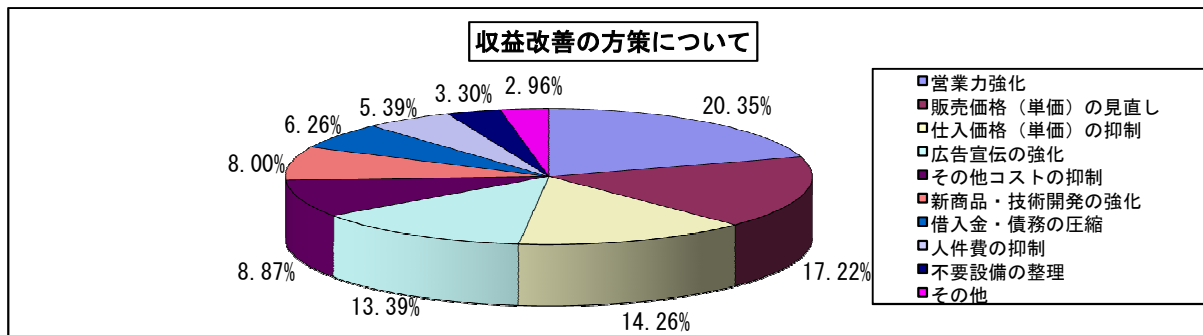
(アンケート項目 17)



収益改善の課題	売上不振	販売価	仕入価	同業種	人材不足	人員過多	経費過多	設備不足	設備過多	その他	
全体	25.39%	17.62%	16.58%	22.45%	3.80%	1.04%	7.94%	1.55%	0.17%	3.45%	
業種別	製造業	28.75%	18.75%	22.50%	20.00%	2.50%	1.25%	3.75%	1.25%	0.00%	1.25%
	建設業	26.92%	18.27%	8.65%	24.04%	4.81%	1.92%	12.50%	0.00%	0.00%	2.88%
	不動産業	33.33%	16.67%	0.00%	16.67%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%
	サービス業	27.78%	9.52%	12.70%	23.02%	6.35%	0.79%	9.52%	3.17%	0.00%	7.14%
	運輸・交通	13.33%	13.33%	20.00%	26.67%	13.33%	0.00%	13.33%	0.00%	0.00%	0.00%
	卸・小売	22.98%	21.37%	20.16%	22.18%	2.02%	0.81%	5.65%	1.61%	0.40%	2.82%
地区別	相馬地区	23.08%	17.79%	19.71%	22.60%	2.88%	1.44%	7.21%	1.92%	0.00%	3.37%
	南相馬地区	22.92%	16.67%	20.83%	19.44%	6.25%	0.69%	8.33%	2.08%	0.00%	2.78%
	双葉地区	29.07%	18.06%	11.01%	24.23%	3.08%	0.88%	8.37%	0.88%	0.44%	3.96%

収益改善の課題については、全体で「売上不振」がトップで、続いて「同業種競争激化」、「販売価格の下落」、「仕入価格の高騰」の順となっている。業種別で「運輸・交通」を除き「売上不振」がトップになっている。

(アンケート項目 18)



収益改善の方策	営業力	広告宣伝	販売価	新商品・	仕入価	人件費の	その他	借入金・	不要設備	その他	
全体	20.35%	13.39%	17.22%	8.00%	14.26%	5.39%	8.87%	6.26%	3.30%	2.96%	
業種別	製造業	18.52%	8.64%	24.69%	9.88%	14.81%	3.70%	6.17%	4.94%	6.17%	2.47%
	建設業	19.23%	7.69%	17.31%	6.73%	11.54%	9.62%	10.58%	10.58%	3.85%	2.88%
	不動産業	33.33%	33.33%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	サービス業	19.84%	16.67%	11.11%	11.11%	12.70%	6.35%	10.32%	3.17%	2.38%	6.35%
	運輸・交通	26.67%	26.67%	6.67%	0.00%	13.33%	6.67%	13.33%	6.67%	0.00%	0.00%
	卸・小売	20.99%	14.40%	18.11%	7.00%	16.46%	3.70%	8.23%	6.58%	2.88%	1.65%
地区別	相馬地区	18.36%	16.43%	15.46%	8.70%	13.53%	6.28%	10.63%	5.31%	3.38%	1.93%
	南相馬地区	20.00%	11.03%	21.38%	8.28%	14.48%	4.83%	8.97%	4.83%	2.76%	3.45%
	双葉地区	22.42%	12.11%	16.14%	7.17%	14.80%	4.93%	7.17%	8.07%	3.59%	3.59%

収益改善の方策については、全体で「営業力強化」、「販売価格の見直し」、「仕入(単価)の抑制」の順となっている。業種別では「製造業」、地区別でも「南相馬地区」を除き、全体的に、「営業力強化」がトップとなっている。

景況総合判断一覧（業種・業態別、地区別）（1）

業種・業態別	回答数	10月～12月					1月～3月					4月～6月				
		上昇超	不変	下降超	無回答	DI	上昇超	不変	下降超	無回答	DI	上昇超	不変	下降超	無回答	DI
総合計	200	24	119	57	0	△ 16.50 %	18	123	57	2	△ 19.70 %	17	124	57	2	△ 20.20 %
印刷・広告業	4	1	3	0	0	25.00 %	0	3	1	0	△ 25.00 %	0	4	0	0	0.00 %
食品加工	6	0	3	3	0	△ 50.00 %	0	3	3	0	△ 50.00 %	0	3	3	0	△ 50.00 %
製材業	2	0	2	0	0	0.00 %	0	2	0	0	0.00 %	0	1	1	0	△ 50.00 %
機械・電気部品	5	1	3	1	0	0.00 %	1	2	2	0	△ 20.00 %	1	3	1	0	0.00 %
鉄工業	3	0	3	0	0	0.00 %	0	3	0	0	0.00 %	0	3	0	0	0.00 %
その他製造業	7	1	3	3	0	△ 28.57 %	1	3	3	0	△ 28.57 %	1	4	2	0	△ 14.29 %
製造業合計	27	3	17	7	0	△ 14.81 %	2	16	9	0	△ 25.93 %	2	18	7	0	△ 18.52 %
総合建設	10	2	6	2	0	0.00 %	3	5	2	0	10.00 %	1	5	4	0	△ 30.00 %
土木建築	8	2	3	3	0	△ 12.50 %	1	6	1	0	0.00 %	1	3	4	0	△ 37.50 %
一般建築	5	0	2	3	0	△ 60.00 %	1	1	3	0	△ 40.00 %	0	1	4	0	△ 80.00 %
水道管工事	10	1	6	3	0	△ 20.00 %	0	6	4	0	△ 40.00 %	1	5	4	0	△ 30.00 %
電気工事	3	0	2	1	0	△ 33.33 %	0	1	2	0	△ 66.67 %	0	2	1	0	△ 33.33 %
建設業合計	36	5	19	12	0	△ 19.44 %	5	19	12	0	△ 19.44 %	3	16	17	0	△ 38.89 %
不動産業	2	0	2	0	0	0.00 %	0	2	0	0	0.00 %	0	2	0	0	0.00 %
理容業・美容業	5	3	1	1	0	40.00 %	0	3	1	1	△ 25.00 %	2	1	1	1	25.00 %
旅館業	8	2	4	2	0	0.00 %	1	4	3	0	△ 25.00 %	1	5	2	0	△ 12.50 %
飲食業	12	0	9	3	0	△ 25.00 %	0	9	3	0	△ 25.00 %	2	7	3	0	△ 8.33 %
その他	19	0	13	6	0	△ 31.58 %	0	13	6	0	△ 31.58 %	0	14	5	0	△ 26.32 %
サービス業合計	44	5	27	12	0	△ 15.91 %	1	29	13	1	△ 27.91 %	5	27	11	1	△ 13.95 %
一般運送	4	0	3	1	0	△ 25.00 %	0	3	1	0	△ 25.00 %	0	3	1	0	△ 25.00 %
タクシー・代行業	1	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %
運輸・交通合計	5	0	4	1	0	△ 20.00 %	0	4	1	0	△ 20.00 %	0	4	1	0	△ 20.00 %
食料品	28	3	17	8	0	△ 17.86 %	2	21	5	0	△ 10.71 %	2	21	5	0	△ 10.71 %
衣料雑貨	15	1	9	5	0	△ 26.67 %	1	10	4	0	△ 20.00 %	1	10	4	0	△ 20.00 %
自動車	10	0	6	4	0	△ 40.00 %	2	3	5	0	△ 30.00 %	0	5	5	0	△ 50.00 %
資材	14	2	10	2	0	0.00 %	2	8	4	0	△ 14.29 %	0	11	3	0	△ 21.43 %
その他	19	5	8	6	0	△ 5.26 %	3	11	4	1	△ 5.56 %	4	10	4	1	0.00 %
卸・小売合計	86	11	50	25	0	△ 16.28 %	10	53	22	1	△ 14.12 %	7	57	21	1	△ 16.47 %

景況総合判断一覧（業種・業態別、地区別）（2）

地区別	回答数	10月～12月					1月～3月					4月～6月				
		上昇超	不変	下降超	無回答	DI	上昇超	不変	下降超	無回答	DI	上昇超	不変	下降超	無回答	DI
相馬・新地地区	70	6	45	19	0	△ 18.57 %	2	51	16	1	△ 20.29 %	3	50	16	1	△ 18.84 %
製造業	11	0	7	4	0	△ 36.36 %	0	7	4	0	△ 36.36 %	0	7	4	0	△ 36.36 %
建設業	10	2	4	4	0	△ 20.00 %	1	5	4	0	△ 30.00 %	1	5	4	0	△ 30.00 %
不動産業	1	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %
サービス業	13	1	9	3	0	△ 15.38 %	0	9	4	0	△ 30.77 %	0	10	3	0	△ 23.08 %
運輸・交通	1	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %
卸・小売	34	3	23	8	0	△ 14.71 %	1	28	4	1	△ 9.09 %	2	26	5	1	△ 9.09 %
南相馬・飯館地区	50	3	32	15	0	△ 24.00 %	4	32	14	0	△ 20.00 %	3	33	14	0	△ 22.00 %
製造業	7	2	4	1	0	14.29 %	2	3	2	0	0.00 %	2	4	1	0	14.29 %
建設業	10	0	8	2	0	△ 20.00 %	2	7	1	0	10.00 %	0	7	3	0	△ 30.00 %
不動産業	0	0	0	0	0	— %	0	0	0	0	— %	0	0	0	0	— %
サービス業	9	0	6	3	0	△ 33.33 %	0	7	2	0	△ 22.22 %	0	6	3	0	△ 33.33 %
運輸・交通	3	0	2	1	0	△ 33.33 %	0	2	1	0	△ 33.33 %	0	2	1	0	△ 33.33 %
卸・小売	21	1	12	8	0	△ 33.33 %	0	13	8	0	△ 38.10 %	1	14	6	0	△ 23.81 %
双葉地区	80	15	42	23	0	△ 10.00 %	12	40	27	1	△ 18.99 %	11	41	27	1	△ 20.25 %
製造業	9	1	6	2	0	△ 11.11 %	0	6	3	0	△ 33.33 %	0	7	2	0	△ 22.22 %
建設業	16	3	7	6	0	△ 18.75 %	2	7	7	0	△ 31.25 %	2	4	10	0	△ 50.00 %
不動産業	1	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %
サービス業	22	4	12	6	0	△ 9.09 %	1	13	7	1	△ 28.57 %	5	11	5	1	0.00 %
運輸・交通	1	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %	0	1	0	0	0.00 %
卸・小売	31	7	15	9	0	△ 6.45 %	9	12	10	0	△ 3.23 %	4	17	10	0	△ 19.35 %

平成22年10月～12月期 第3四半期

【 判 断 回 答 欄 】

景況判断項目		当てはまる番号に○を付けてください。							
1	御社の景況についてご判断ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①上昇している ②やや上昇している ③変わらない ④やや下降している ⑤下降している	10月～12月	①	②	③	④	⑤		
		1月～3月	①	②	③	④	⑤		
		4月～6月	①	②	③	④	⑤		
2	御社の景況判断の決定要因についてご回答ください。 (以下の選択肢から重要度の高い順に、3項目ご回答ください。) ①売上の動向 ②販売価格の動向 ③仕入価格の動向 ④人件費の動向 ⑤仕入・人件費以外のコストの動向 ⑥資金繰りの動向 ⑦その他	1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		3	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
3	売上についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①増加している ②やや増加している ③変わらない ④やや減少している ⑤減少している	10月～12月	①	②	③	④	⑤		
		1月～3月	①	②	③	④	⑤		
		4月～6月	①	②	③	④	⑤		
4	製(商)品・サービスの販売価格(単価)についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①上昇している ②やや上昇している ③変わらない ④やや下降している ⑤下降している	10月～12月	①	②	③	④	⑤		
		1月～3月	①	②	③	④	⑤		
		4月～6月	①	②	③	④	⑤		
5	原材料・商(製)品の仕入価格(単価)についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①下降している ②やや下降している ③変わらない ④やや上昇している ⑤上昇している	10月～12月	①	②	③	④	⑤		
		1月～3月	①	②	③	④	⑤		
		4月～6月	①	②	③	④	⑤		
6	人件費支出についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①減少している ②やや減少している ③変わらない ④やや増加している ⑤増加している	10月～12月	①	②	③	④	⑤		
		1月～3月	①	②	③	④	⑤		
		4月～6月	①	②	③	④	⑤		
7	仕入・人件費以外のコストについてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①減少している ②やや減少している ③変わらない ④やや増加している ⑤増加している	10月～12月	①	②	③	④	⑤		
		1月～3月	①	②	③	④	⑤		
		4月～6月	①	②	③	④	⑤		
8	収益についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①改善している ②やや改善している ③変わらない ④やや悪化している ⑤悪化している	10月～12月	①	②	③	④	⑤		
		1月～3月	①	②	③	④	⑤		
		4月～6月	①	②	③	④	⑤		
9	従業員の状況についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較してご回答ください。) ①不足している ②不足気味である ③適正である ④過剰気味である ⑤過剰である	10月～12月	①	②	③	④	⑤		
		1月～3月	①	②	③	④	⑤		
		4月～6月	①	②	③	④	⑤		

裏面にもご回答ください。

平成22年10月～12月期 第3四半期

【 判 断 回 答 欄 】

景況判断項目		当てはまる番号に○を付けてください。										
10	残業時間についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①減少している ②やや減少している ③変わらない ④やや増加している ⑤増加している	10月～12月	①	②	③	④	⑤					
		1月～3月	①	②	③	④	⑤					
		4月～6月	①	②	③	④	⑤					
11	臨時・パートについてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較してご回答ください。) ①増加している ②やや増加している ③変わらない(採用なし) ④やや減少している ⑤減少している	10月～12月	①	②	③	④	⑤					
		1月～3月	①	②	③	④	⑤					
		4月～6月	①	②	③	④	⑤					
12	資金繰りについてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①良化している ②やや良化している ③変わらない ④やや困窮している ⑤困窮している	10月～12月	①	②	③	④	⑤					
		1月～3月	①	②	③	④	⑤					
		4月～6月	①	②	③	④	⑤					
13	金融機関からの調達(借入)についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①減少している ②やや減少している ③変わらない(利用なし) ④やや増加している ⑤増加している	10月～12月	①	②	③	④	⑤					
		1月～3月	①	②	③	④	⑤					
		4月～6月	①	②	③	④	⑤					
14	生産・販売などの設備状況についてご回答ください。 (各期とも前四半期(10月～12月)と比較して、ご回答ください。) ①良化している ②やや良化している ③変わらない ④やや困窮している ⑤困窮している	10月～12月	①	②	③	④	⑤					
		1月～3月	①	②	③	④	⑤					
		4月～6月	①	②	③	④	⑤					
15	今後の設備状況についてご回答ください。 (上記項目回答を踏まえ、ご回答ください。) 【半期毎項目】 ①増設する(決定) ②増設計画している ③現状のまま ④削減計画している ⑤削減する(決定)		①	②	③	④	⑤					
16	どのような設備をお考えかご回答ください。 (上記項目回答を踏まえ、ご回答ください。) 【半期毎項目】 ①生産(販売)機械・器具 ②車両運搬具 ③IT事務機器(パソコン・通信機器など)④その他事務機器・備品 ⑤造 作設備 ⑥不動産設備 ⑦その他		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
17	事業経営(収益)改善の課題についてご回答ください。 (以下の選択肢から重要度の高い順に、3項目ご回答ください。) ①売上不振 ②販売価格(単価)の下落 ③仕入価格(単価)の高騰 ④同業種競争激化 ⑤人材不足 ⑥人員過多 ⑦経費過多 ⑧設備不足 ⑨設備過多 ⑩その他	1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		3	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
18	業況(収益)改善の方策についてご回答ください。 (以下の選択肢から重要度の高い順に、3項目ご回答ください。) ①営業力強化 ②広告宣伝の強化 ③販売価格(単価)の見直し ④新商品・技術開発の強化 ⑤仕入価格(単価)の抑制 ⑥人件費の抑制 ⑦その他コストの抑制 ⑧借入金・債務の圧縮 ⑨不要設備の整理 ⑩その他	1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		3	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

ご協力ありがとうございました